

基本目標Ⅱ 男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり  
 施策の方向性Ⅰ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進  
 基本的施策（1） 雇用環境の整備と働き方の見直し

事業の部局内評価基準

- A 事業を実施し、著しい成果があった
- B 事業を実施し、成果があった
- C 事業を実施したが、あまり成果がなかった
- D 事業を実施したが、成果がなかった

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員(人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 男女雇用機会均等法についての啓発	ア 事業主に対する情報提供	○使用者団体、関係機関と連携し、男女雇用機会均等法についての情報を提供する。  ・募集、採用時における男女の雇用機会均等 ・配置、昇進昇格等における男女平等 ・セクシュアル・ハラスメントの禁止	事業主等		通年	各勤労福祉施設 福島市就職支援相談窓口等	実施結果 推進員が各企業を訪問する際に、情報の提供に努めた。 ホームページや資料掲示による啓発に努めた。  事業の評価 A   (B)   C   D 今後の課題 さらに情報提供の方法の改善に努める。	男女共同参画センター 商業労政課
	イ 事業所実態調査	○市内民間企業に対し男女雇用機会均等法に関する調査項目を含めた労働者の労働条件の実態と今後の動向調査を行う。	市内事業所	991事業所	6月～8月	市内	実施結果 有効回答数が25年度より1.4倍の増加(227件→294件)となり、より福島市内の実態を把握できる回答を得ることができた。  事業の評価 A   (B)   C   D 今後の課題 さらに回収数をあげるために、調査書の様式、項目、送付時期等を再検討する。	商業労政課

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
② 職場での性別役割分業意識と慣行の見直し	ア 男女共同参画トップセミナーの開催	○雇用の場における男女平等及び仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進するため事業主等を対象に講演会を開催する。  ・トップセミナー 講演「『日本でいちばん大切にしたい会社』著者に聴く 働くみんなが幸せな会社」 講師：坂本 光司 氏	事業主等	130	2月18日	アオウゼ	実施結果 年齢や性別、障がいの有無等に捉われない多様な人材を確保・育成することの大切さと、そのことが企業や社会全体にもたらす利益について紹介があり、参加者は「本物の経営」とは何かについて学んだ。  事業の評価 ① A B C D  今後の課題 男性や経営者層の参加割合が高く、内容も好評。引き続きより多くの参加者の取り込み。	男女共同参画センター
	イ 職場における男女平等推進啓発事業	○女性の雇用管理の改善と女性就労者の雇用を促進するため、事業主等に対する啓発を行う。	事業主等		通年	福島市就職支援相談窓口 福島商工会議所	実施結果 推進員が各企業を訪問した際に、情報の提供に努めた。  事業の評価 A B C D  今後の課題 さらに情報提供の方法の改善に努める。	商業労政課
	ウ 働く女性に対する講演会等の開催	○働く女性の取り巻く環境の現状や課題を把握し、働く女性の活躍できる環境づくりを推進するため、講演会とパネル討論会を開催する。  <b>新規事業</b>  講演会「あななが輝く働き方～秘訣はワーク・ライフ・バランス～」 講師：小室淑恵 パネル討論会「福島市で働く女性の現状、活躍できる職場環境づくりとは」	働く女性 事業主等	180	11月1日	アオウゼ	実施結果 女性の働く環境の現状や抱える問題の背景および、講師の体験を含めて仕事と家庭との両立のコツなどの紹介があり、参加者はライフが充実するとワークの質と効率が上がることを学んだ。  事業の評価 ① A B C D  今後の課題 働く女性と事業主の割合がほぼ半数で、仕事と家庭の両立と、職場環境改善に対する意識の高さが互いにあることがわかった。現状を改善するために、情報提供が必要である。	

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
③ 再雇用、中途雇用の普及促進	ア 求人及び能力開発訓練制度等の情報提供	○ 求人情報を広く提供するとともに、能力再開発訓練制度等に関して周知を図る。	市民		通年	ホームページ 市政だより 福島市就職支援相談窓口 福島商工会議所	<p>実施結果</p> <p>福島市就職支援相談窓口やハローワークと連携を図り、情報提供に努めた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1" data-bbox="1520 523 1968 564"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>さらに、多くの情報を収集し、広く周知するための手段を検討する。</p>	A	(B)	C	D	商業労政課
	A	(B)	C	D								
イ 職業相談事業の充実	○ 相談窓口を設置し、相談事業の充実を図るとともに、関係機関の求人情報や職業相談事業などを勤労者福祉施設では関係機関で実施する職業相談事業の周知を図る。	市民		通年	福島市就職支援相談窓口 各勤労者福祉施設	<p>実施結果</p> <p>相談窓口を常設し求職者への職業相談・斡旋の情報提供を行なった。また、勤労者福祉施設において関係機関で実施する職業相談等の情報提供を行なった。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1" data-bbox="1520 1161 1968 1203"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>さらに、相談窓口事業を広く周知できるように改善に努める。</p>	A	(B)	C	D		
A	(B)	C	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
④ 女性起業者の支援	ア 起業に関する情報提供	○ 関係機関等と連携し創業スクール開催の情報提供を行う。  ・ 創業スクール (全5回開催)  主催：福島商工会議所	市民	20 (女性8)	9月～10月	インターネット ホームページ	<p>実施結果</p> <p>関係機関等と連携し創業スクール開催の情報提供を行った。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>ひきつづき研修会開催等の情報の提供を図る。</p>	A	(B)	C	D	産業交流プラザ
A	(B)	C	D									
⑤ パートタイマー、派遣・家内労働者の就業条件の整備	ア 事業主等に対する啓発活動の推進	○ 使用者団体、関係機関等と連携し、関係法令などの啓発活動を行う。	事業主等		通年	インターネット 福島市就職支援相談窓口	<p>実施結果</p> <p>労働条件等実態調査の中で情報収集を行ない、情報提供及び啓発活動に努めた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>さらに啓発活動の方法の改善に努める。</p>	A	(B)	C	D	商業労政課
A	(B)	C	D									
⑥ 相談体制の充実	ア 職業相談事業の充実	○ 相談窓口を設置し、相談事業の充実を図るとともに、関係機関の求人情報や職業相談事業などを勤労者福祉施設では関係機関で実施する職業相談事業の周知を図る。(再掲)30頁参照	市民		通年	福島市就職支援相談窓口 各勤労者福祉施設	<p>実施結果</p> <p>相談窓口を常設し求職者への職業相談・斡旋の情報提供を行なった。また、勤労者福祉施設において関係機関で実施する職業相談等の情報提供を行なった。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>さらに、相談窓口事業を広く周知できるように改善に努める。</p>	A	(B)	C	D	
A	(B)	C	D									

基本目標Ⅱ 男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり  
 施策の方向性1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進  
 基本的施策（2） 仕事と家庭生活などとの両立支援の推進

事業の部局内評価基準

- A 事業を実施し、著しい成果があった
- B 事業を実施し、成果があった
- C 事業を実施したが、あまり成果がなかった
- D 事業を実施したが、成果がなかった

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
① 子育て支援、児童の健全育成の充実	ア 子育て講演会	○子育て支援に関わる職員と市民の育児に関する啓発を図る。	子育て支援関係職員 一般市民 保護者	175	6月22日	こむこむ館	<p>実施結果</p> <p>絵本作家佐藤伸氏を講師に、親子で楽しめる「おてて絵本」のお話・講演会を実施。心地よい手のぬくもりを通じて、親子のコミュニケーション力、創造力を培い、家族相互間の心が豊かになる機会を設けた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">(A)</td> <td style="width: 25%;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>リラックスした雰囲気の中、親子で一緒に遊びを楽しむ機会を提案することには大いに意義があると思われた。</p>	(A)	B	C	D	児童福祉課
(A)	B	C	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
① 子育て支援、児童の健全育成の充実	イ 保育サービス事業	<p>○多様な保育サービス需要に適切に対応し、延長保育や一時預かり保育など保育システムの多様化、弾力化、多機能化に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育</li> <li>・一時預かり保育</li> <li>・休日保育</li> <li>・乳児保育</li> <li>・特定保育</li> <li>・地域活動事業</li> <li>・病児、病後児保育事業（病後児型）</li> <li>・体調不良児対応型病児、病後児保育事業 など</li> </ul>	市民		通年	各保育所	<p>実施結果</p> <p>多様な保育サービス需要に適切に対応した。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>特になし。</p>	(A)	B	C	D	児童福祉課
	(A)	B	C	D								
ウ 保育料の軽減	<p>○保育料の保護者負担軽減に努める。</p>	市民	3,735 (定員数)	通年	各保育所	<p>実施結果</p> <p>国の保育料徴収額表8段階を市独自に15段階に細分化して、負担軽減を図った。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>特になし。</p>	(A)	B	C	D		
(A)	B	C	D									



施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 子育て支援、児童の健全育成の充実	エ 子育て支援短期利用事業	○保護者の疾病・出産等により、一時的に子どもの養育が困難となった場合における支援事業（子どものショートステイ）を行う。	2歳～就学前の児童	16人 (計90日間)	通年	各児童 養護施設	実施結果	児童福祉課
							保護者の申請に基づき、支援できた。	
							事業の評価	
	(A)   B   C   D							
	今後の課題							
	現在の事業を継続していく。							
オ 児童の健全育成事業	○保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る放課後児童健全育成事業を実施する。	小学生	2,110	通年	59児童 クラブ	実施結果		
						留守家庭の児童健全と安全な保育に努めることができた。		
						事業の評価		
	A   (B)   C   D							
	今後の課題							
	待機児童の解消。							
○健全な遊びを通して、体力増強を図りながら、児童の集団的個別的指導を行う。子供会、母親クラブ等の地域組織活動の育成助長を行う児童センター事業を実施する。	すべての児童	61,091	通年	各児童 センター	実施結果			
					地域子育ての拠点として、多くの利用があった。			
					事業の評価			
	A   (B)   C   D							
	今後の課題							
	施設の老朽化。							

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
① 子育て支援、児童の健全育成の充実	カ 地域子育て支援体制の整備	○育児の援助について、受けたい者と、行いたい者とを会員として組織するファミリーサポート事業を実施する。	小学6年生までの子を持つ会員ほか	3,493	通年	指定場所	<p>実施結果</p> <p>申込みのあった活動内容により、育児支援を実施した。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>チラシ配布や市政だよりでの広報活動を行い、預かり会員の不足解消に努める。</p>	(A)	B	C	D	児童福祉課
	(A)	B	C	D								
	キ 預かり保育事業	○保育ニーズの多様化に伴い、子育てを支援する目的で幼稚園において預かり保育を実施する。	ふくしま南幼稚園及び大笹生幼稚園の園児	2,394	通年	ふくしま南幼稚園及び大笹生幼稚園	<p>実施結果</p> <p>希望する家庭に対して効果的に子育て支援を行うことができた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>今後も継続して取り組んでいく。</p>	(A)	B	C	D	学校教育課
(A)	B	C	D									
ク 預かり保育料の軽減	○保護者の経済状況に応じて、預かり保育料を軽減する。	上記2園の園児が福島市幼稚園預かり保育に関する条例第6条に該当するもの	24	通年	ふくしま南幼稚園及び大笹生幼稚園	<p>実施結果</p> <p>預かり料の軽減措置を講じ、子育て支援に寄与することができた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>子ども子育て支援新制度の開始に伴い軽減措置は廃止。</p>	(A)	B	C	D		
(A)	B	C	D									



施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
② 育児グループ・ボランティア活動への支援	ア 地域子育て支援体制の整備	○育児の援助について、受けたい者と、行いたい者とを会員として組織するファミリーサポート事業を実施する。(再掲)	小学6年生までの子を持つ会員ほか	3,493	通年	指定場所	実施結果	児童福祉課
							申込みのあった活動内容により、育児支援を実施した。	
							事業の評価	
							A   (B)   C   D	
今後の課題	預かり会員の不足。							
③ 相談体制の充実	ア 相談体制の充実	○子育ての孤立化や不安の解消を図るため、相談体制の整備・充実を図る。 ・子育て支援窓口の設置 ・子育て支援センター相談	市民  市民	340件  2,021件 (電話相談)	通年  通年	児童福祉課  各子育て支援センター	実施結果	児童福祉課
							育児相談は主に子どもの発達に関するものや育児サークルについて問い合わせが増えている	
							事業の評価	
							(A)   B   C   D	
今後の課題	今後も相談体制を整えていく。							

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
④ 次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画の実施	ア 福島市職員のための子育て支援プラン	○母性保護、育児休業、休暇などの各種制度についての周知を図る。	全職員		通年		<p>実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性職員の育児休業取得率100%（出産した女性職員32名全員が育児休業を取得）</li> <li>出産補助休暇取得者数 H25:48名⇒H26:52名</li> <li>育児参加休暇取得者数 H25:12名⇒H26:15名</li> <li>子育て支援休暇取得者数 H25:449名⇒H26:420名</li> <li>育児休業等に関するチラシを庁内ネットワーク（ガルーン）のファイル管理にアップロードし、周知を推進した。</li> </ul> <p>事業の評価</p> <table border="1" data-bbox="1512 671 1966 711"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>育児休業制度については既に職員間に十分浸透していると思われることから、今後は育児休業以外の休暇等の制度の周知を推進する。</li> <li>「福島市職員のための子育て支援プラン」の総括を行い、より休暇の取得を促進する新プランを策定する。</li> </ul>	A	(B)	C	D	職員課
	A	(B)	C	D								
	○男性職員の育児休業の取得促進を図る。	男性職員		通年		<p>実施結果</p> <p>取得者数/取得可能者数の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H22⇒1/44    H24⇒1/53</li> <li>H23、25、26⇒取得者なし</li> </ul> <p>事業の評価</p> <table border="1" data-bbox="1512 1166 1966 1206"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>(C)</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>男性職員に対し育児支援制度の周知を推進するとともに、男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくりを目指す。</li> <li>「福島市職員のための子育て支援プラン」の総括を行い、男性の育児参加をより推進する新プランを策定する。</li> </ul>	A	B	(C)	D		
A	B	(C)	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
⑤ 介護保険制度の運営	ア 介護保険制度の広報・啓発	<p>○介護保険制度の説明会を開催する。</p> 	市民	460 (10回)	通年	市内	<p>実施結果</p> <p>今後、介護保険を利用される市民の方々等を対象に、要介護認定の方法や介護サービスの概要等を説明した。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1" data-bbox="1516 488 1968 528"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>より多くの説明会を開催し、積極的に制度の周知を図る。</p>	A	(B)	C	D	長寿福祉課
	A	(B)	C	D								
		<p>○介護保険制度の啓発資料・パンフレットを配布する。</p> 	市民		通年	市内	<p>実施結果</p> <p>上記説明会での利用、市関係部署への備付、市政だより折込による広報を行った。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1" data-bbox="1516 919 1968 959"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>効果的な広報・情報提供方法の検討。</p>	A	(B)	C	D	
	A	(B)	C	D								
	イ 介護相談員の派遣	<p>○介護サービス事業者及び利用者への訪問相談・調査を実施し、介護サービス等の質的向上を図る。</p>	介護サービス 45事業所	3,470	通年	特別養護老人ホーム 18施設 老人保健施設 12施設 デーサービス 11施設 グループホーム 4施設	<p>実施結果</p> <p>介護施設利用者の不満・疑問の解消を図ることができた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1" data-bbox="1516 1334 1968 1374"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>特になし。</p>	(A)	B	C	D	
	(A)	B	C	D								

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課	
⑥ 相談体制、情報提供体制の充実	ア 地域包括支援センター機能の充実	○ 高齢者や家族等（原発事故による広域避難高齢者や家族を含む）の相談に応じ、保健、医療、福祉サービスが総合的かつ適切に受けられるよう、地域包括支援センターの相談等機能を充実する。	高齢者等	8,540	通年	市内	実施結果	長寿福祉課	
							市内19箇所の地域包括支援センターで介護や福祉、生活、地域の支えあい活動などの相談を実施。（訪問相談件数の実績）		
							事業の評価		
							A   (B)   C   D		
今後の課題	高齢者の増加に伴い、相談内容も困難化している。担当圏域見直しや業務量に応じたセンターの体制強化を図り、保健・医療・福祉等の連携をより充実させた総合的な相談業務の展開。								
⑦ 介護施設及び設備の充実	ア 介護保険施設の整備促進	○ 特別養護老人ホーム、老人保健施設等の整備を図る。	認知症高齢者グループホーム1施設		通年	市内	実施結果	長寿福祉課	
							認知症高齢者グループホーム1施設、18床。		
	事業の評価	(A)   B   C   D							
	今後の課題	特になし。							
イ 要介護高齢者等住宅改修助成事業		○ 高齢者及び障がい児・者が快適で安全な在宅生活を送ることができるよう、住宅改修資金を補助する。	要介護（要支援）高齢者及び障がい児（者）で障がい程度3級以上の方（生計中心者に所得要件あり）	29件	通年	市内	実施結果	長寿福祉課	
							年間29件の住宅改修工事に助成（4,388千円）し、高齢者と身体障がい者の在宅生活環境を整備。		
							事業の評価		A   (B)   C   D
							今後の課題		対象者への積極的な利用啓発。

基本目標Ⅱ 男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり  
 施策の方向性1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進  
 基本的施策（3） 家庭生活における男女共同参画の促進

事業の部局内評価基準

- A 事業を実施し、著しい成果があった
- B 事業を実施し、成果があった
- C 事業を実施したが、あまり成果がなかった
- D 事業を実施したが、成果がなかった

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 多様な家族形態に対応した家庭生活への支援	ア ひとり親家庭援護事業	○ひとり親家庭等に対し、医療費の助成を行う。	母子家庭、父子家庭、父母のいない児童	受給者数 5,282 (H27.3.31現在)	通年		実施結果 ひとり親家庭に対し、医療費の助成を行った。 助成件数 14,646件 助成金額 42,026千円 事業の評価 (A)   B   C   D 今後の課題 制度の周知及び関係機関との連携強化。	地域福祉課
		○ひとり親家庭等に対し、児童扶養手当の支給を行う。	児童を監護する母、児童を監護し生計を同じくする父、または当該父母にかわって児童を養育している人	受給者数 2,526人 (H27.3.31現在)	通年		実施結果 法制度に則り、支給できた。 事業の評価 (A)   B   C   D 今後の課題 特になし。	児童福祉課
		○母子家庭等に対し、就学、住宅等の資金の貸付を行う母子寡婦福祉資金貸付の実施。	母子家庭など	13件	通年		実施結果 審査基準に合致した申請者に貸付ができた。 事業の評価 A   (B)   C   D 今後の課題 相談体制や申請について利便性の向上。	

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 多様な家族形態に対応した家庭生活への支援	ア ひとり親家庭支援事業	○ 県と連携を図り、母子家庭や寡婦、父子家庭に対して相談事業を実施する。	母子家庭など市民		通年		実施結果	児童福祉課
							県主催による女性相談員の研修に参加し、適切な助言ができた。	
							事業の評価	
							A   (B)   C   D	
	今後の課題	啓発、広報に務める。						
		○ 母子家庭の福祉対策として母子生活支援施設への入所を実施する。	母子家庭	36世帯 (定員)	通年	福島敬香 ハム	実施結果	
						母子家庭の貧困世帯等において、生活面での自立が図られるよう支援ができた。		
						事業の評価		
						A   (B)   C   D		
						今後の課題	現在の事業を継続し、施設との連携を強化し入所者の更なる支援を図る。	
イ 高齢者住宅改修助成事業	○ 高齢者が自宅において転倒等により要介護状態にならないよう、住宅改修資金を補助する。	介護保険に該当しない高齢者。 (世帯全員が市民税非課税等の要件あり)	8件	通年	市内	実施結果	長寿福祉課	
						年間8件の住宅改修に助成をし、(1,213千円)介護等を予防する住宅環境の整備に寄与した。		
						事業の評価		
						A   (B)   C   D		
今後の課題	対象者への積極的な利用啓発。							

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
① 多様な家族形態に対応した家庭生活への支援	ウ 高齢者社会参加促進事業	○高齢者の社会参加を促進するため、高齢者向けの情報紙「みんなのわ」を発行する。	健康づくり、市民活動等の各分野からなる委員		年2回	保健福祉センター	<p>実施結果</p> <p>情報紙発行による効果を再検証するため、平成26年度は発行を休止した。情報紙に代わる事業内容の検討については、検討委員会の立ち上げを見送り、内部での検討期間とした。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>平成27年度において、情報紙に代わる魅力的で効果的な事業の検討を行う。</p>	A	B	C	D	長寿福祉課
	A	B	C	D								
	エ 子育てを支援する市営住宅の整備	○子育て世帯向けのゆとりある住宅を整備する。	住宅に困窮する、所得月額15万8千円以下の者（借上市営住宅）	10	通年（退去があった際）	曾根田町 早稲町 中町 新町 の各団地	<p>実施結果</p> <p>退去のあった4戸について、修繕し貸し出した。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>修繕予算の確保。</p>	A	ⓑ	C	D	建築住宅課
A	ⓑ	C	D									
オ 子育て定住支援住宅の整備	○市内自主避難者の帰還を支援するための子育て世帯向け住宅を整備する。	平成23年3月11日に市内に居住し、かつ、現に市外に避難している所得月額が48万7千円以下の子育て世帯	50	3月	町庭坂第1、町庭坂第2の各団地	<p>実施結果</p> <p>住宅を20戸整備し、市外に避難している子育て世帯(13世帯)が本市に帰還した。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>再募集を実施し、早期空家解消に努める。</p>	A	ⓑ	C	D		
A	ⓑ	C	D									

**新規事業**

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課	
② 性別役割分業意識の改革支援	ア 広報・啓発事業	○男女の固定的役割分業意識を是正し、男女平等の理念の浸透を図り、家庭における男女共同参画を促進するための資料や情報紙などを作成し配布する。 ・男女共同参画情報紙「しのぶぴあ」37号の発行 (再掲) 12頁参照	市政だより折込による全戸配布		3月		実施結果	男女共同参画センター	
							男女共同参画情報紙「しのぶぴあ」37号の発行により啓発を図った。		
							事業の評価		
							(A)		B
今後の課題		現在の取組みを継続していく。							
③ 男性の家庭生活への参画支援	ア 家庭教育学級、講座等の開催	○学習センターの土日開館により、開催日時を工夫し男性の参加を呼びかけていく。(再掲)	子供を持つ親	823	通年	各学習センター	実施結果	生涯学習課	
							各学習センターにおいて学級・講座を開催。一部では男性の参加を図るため土・日曜日に開催した。		
							事業の評価		
	A	(B)	C	D					
	今後の課題		参加周知の拡充。						
	イ 成人対象の学級、講座等の開催	○学習センターの土日開館により、開催日時を工夫し男性の参加を呼びかけていく。(再掲) ・市民学校等 ・高齢者学級、講座等(28学級)	成人男女  成人男女	1,720	通年  通年	各学習センター  各学習センター	実施結果		
各学習センターにおいて学級・講座を開催。一部では男性の参加を図るため土・日曜日に開催した。									
事業の評価									
A	(B)	C	D						
今後の課題		男性の更なる参加しやすい事業の開催。							






施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
③ 男性の家庭生活への参画支援	ウ 子育て応援ひろばの開催	○乳幼児と保護者を対象にした遊びを開催することにより、子育ての楽しさを再発見してもらい父親の子育て場面への介入につなげる。	生後3ヶ月～1歳半までの親子	122	年3回	保健福祉センター	<p style="text-align: center;">実施結果</p> 参加者希望者が多く、キャンセル待ちが出るほどであった。 毎回、父親の参加が3割程度あった。	児童福祉課
			生後3ヶ月～1歳半までの親子	67			事業の評価 (A)   B   C   D	
			今後の課題 市民のニーズが高いので、事業を継続していく。					

基本目標Ⅱ 男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり  
 施策の方向性1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進  
 基本的施策（4） 地域活動における男女共同参画の促進

事業の部局内評価基準

- A 事業を実施し、著しい成果があった
- B 事業を実施し、成果があった
- C 事業を実施したが、あまり成果がなかった
- D 事業を実施したが、成果がなかった

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 地域づくりに関する方針決定過程への女性の参画促進	ア 男女共同参画出前講座の開催	○関係機関と連携し周知を図り、町内会等への女性の参画を促進するため町内会等で開催する男女共同参画に関する学習会へ講師を派遣する。  ・男女共同参画の現状と課題「女性も男性も自分らしく生きるために」 講師：山口 哲子 氏  	町内会等  西学習スクール	17	通年  1月28日	市内  土湯温泉	実施結果 市ホームページへの情報掲載やチラシによる講座案内送付等、積極的に広報を行った結果、地域の女性団体から申込があり、男女共同参画に関する学習の機会を提供することができた。  事業の評価 A    B    C    D 今後の課題 今後も多様な機関と連携しながら、特に町内会等への広報強化を図り、女性が地域づくりの場に積極的に参画できるよう支援する。	男女共同参画センター
	イ 自治振興協議会の開催	○市政に関する意見の交換を図り、地域住民の声を具体的に聴取して施策に反映させる目的で開催する。自治振興協議会への女性の参画を促進する。	各地区の自治振興協議会の委員	1,083	6月～8月	各支所等	実施結果 市内28地区の自治振興協議会を18会場で開催した。地域住民と協議会を通じ、意見交換を実施することで、行政と住民との情報共有が図られた。また、女性委員の出席は全体の13%であり、地域の課題解決のために女性の声を反映する機会を設けることができた。  事業の評価 A    B    C    D 今後の課題 地域住民の声を施策にさらに反映できる仕組みづくりを検討するとともに、若年層及び女性委員を拡大する。	広報広聴課


施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員(人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
② 地域活動への参画促進	ア 住民自治組織地域活動促進補助	<p>○ 市民運動の継続を図るため町内会等が行う地域活動費の一部を補助し、市民の地域活動への参画を促進する。</p> 	町内会員等	実施団体(50団体)	通年	市内	<p>実施結果</p> <p>男女の区別無く、沢山の市民が事業に参加した。</p> <p>事業の評価</p> <p>A   (B)   C   D</p> <p>今後の課題</p> <p>花いっぱい運動などは、女性の事業参加割合が多いが、他の事業へも広げる。</p>	市民活動支援課
	イ 市民活動支援事業	<p>○ 市民活動サポートセンターを拠点として各種事業を実施する。</p> 	市民	262人 講座 6回 講演会2回	通年	市民活動サポートセンター	<p>実施結果</p> <p>性別に関係なく広く一般市民が参加できる講座を開催した。</p> <p>事業の評価</p> <p>A   (B)   C   D</p> <p>今後の課題</p> <p>男女共同参画の視点を考慮した講座・講演会を企画、実施していく。</p>	
	ウ 消費生活支援事業	<p>○ より充実した消費生活の実現と安全・安心確保のため、情報提供や啓発、消費生活相談による被害の防止・救済を行い、自立した消費者の育成を目指す。放射能から身を守り食の安全を確保するため、情報提供や啓発事業の強化を図る。</p>	市民	2,031	通年	消費生活センターほか 市内	<p>実施結果</p> <p>安全・安心確保のための正しい情報、悪質商法などから身を守る情報、放射能から身を守り食の安全を確保するための情報などを提供した。</p> <p>事業の評価</p> <p>A   (B)   C   D</p> <p>今後の課題</p> <p>巧妙化している悪徳商法から身を守る情報の発信、啓発事業の強化。</p>	

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
② 地域活動への参画促進	エ 環境保全活動への参画支援	<p>○ 市民一人ひとりが環境問題について理解を深めるため、環境問題に関する情報提供や地域における環境学習を推進するとともに「ふくしまきれいにし隊」及び「ポイ捨てのない美しいまちづくり推進モデル地区」など地域団体への支援等を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もったいない学習会</li> <li>・ふくしまきれいにし隊</li> <li>・モデル地区</li> </ul>	<p>市民</p> <p>市民</p> <p>指定期間H25年2月～27年2月まで ①松浪町協和会 ②太田町六華町会 ③渡利薬師町内会 ④森合地区町会連合会 ⑤岡部町会 ⑥一本木町内会 ⑦葭野町内会 ⑧八木田町内会 ⑨儘上町会 ⑩竹ノ下町会 ⑪土湯温泉町内会連合会 ⑫清水町町会 ⑬平野地区町内会連合会 ⑭松川地区衛生団体連合会 水原支部 ⑮小田区 ⑯中央町会 ⑰飯野志保井ヶ丘町内会</p>	<p>263 (16回) 登録人数 6,927 登録団体 220団体</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>2年間</p>	<p>市内</p> <p>市内</p> <p>17地区</p>	<p>実施結果</p> <p>&lt;もったいない学習会&gt; 受講者が、家庭でできる省エネ・省資源の取組み事例を参考に実践する契機となった。</p> <p>&lt;ふくしまきれいにし隊&gt; 制度周知を図り、登録団体数の増加に繋がった。</p> <p>&lt;モデル地区&gt; モデル地区への支援を通じ、地域の快適な環境づくりを目指し、地域ぐるみの環境美化活動を推進した。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1" data-bbox="1516 898 1968 938"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>&lt;もったいない学習会&gt; 受講者の拡大及び学習内容の拡充。</p> <p>&lt;ふくしまきれいにし隊&gt; 周知、加入促進により登録団体の増加を図る。</p> <p>&lt;モデル地区&gt; モデル地区を全地区から指定できるよう制度拡充を図る。</p>	A	(B)	C	D	<p>環境課</p>
							A	(B)	C	D		

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
② 地域活動への参画促進	オ 地域福祉活動への支援	<p>○性別を問わず、地域住民の福祉に対する意識の高揚を図り、福祉活動への参加を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生、児童委員研修会</li> <li>・福祉作品展</li> </ul>	<p>市内の全民生・児童委員</p> <p>障がいのある児童・生徒、知的、身体、精神障がい者、65歳以上の高齢者</p>	<p>423</p> <p>2,640</p>	<p>2月</p> <p>12月</p>	<p>福島県文化センター</p> <p>アオウゼ</p>	<p>実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性別を問わず地域住民の福祉に対する意識の高揚を図り、福祉活動への参加を推進できた。</li> <li>・福祉作品展は12月6日～8日の開催（6日はふれあいのつどいと同時開催）。出品作品数1,011点、作品参加人数2,640人、観覧者数5,389人。出品作品数、作品参加人数は増加したが、天候等の影響もあり、観覧者数は減少した。</li> </ul> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の充実</li> <li>・参加対象者への周知方法を検討する等により、参加人数および観覧者数を増やしていく。</li> </ul>	A	(B)	C	D	地域福祉課 障がい福祉課
	A	(B)	C	D								
カ 地域ネットワーク支援事業	<p>○地域で高齢者への支援活動を行っている団体に対し、情報提供等を行うとともに、高齢者への支援活動を広めるため、講演会等を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域住民が主体の楽しいまちづくり」</li> </ul> <p>講師：支え合いのしくみづくりアドバイザー 河田 瑋子 氏</p>	市民	400	講演会 2月27日	パルセイ いざか	<p>実施結果</p> <p>町内会や民生児童委員などの地域住民と医療・介護職員等の専門職など、400名の参加者を得た。地域の主体的な活動のきっかけとなる有意義な講演会となった。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>実施主体である「高齢者を支え合う地域づくり推進連絡会」の組織強化。講演会をきっかけとして、身近な地域での具体的な活動へ結びつけること。</p>	A	(B)	C	D	長寿福祉課	
A	(B)	C	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
② 地域活動への参画促進	カ 地域ネットワーク支援事業	○ひとり暮らし高齢者等の社会参加と生きがいを高めるため、給食サービスを行う団体に経費の一部を助成し、支援する。	ひとり暮らし高齢者に年2回以上(1回当たり30人以上)給食サービスを提供している団体及びボランティアグループ	5団体	通年	市内	<p>実施結果</p> <p>地区の高齢者との交流を図るだけでなく、ひとり暮らし高齢者の安否確認も併せて行うことができた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>実施団体を増やし、事業の拡大を図る。</p>	A	(B)	C	D	長寿福祉課
		A	(B)	C	D							
	○高齢者和其他の世代間との交流を深めるため、世代間交流事業を行う団体に対し助成する。	世代間交流事業を年3回以上(1回当たり30人以上)実施する団体	10団体	通年	市内	<p>実施結果</p> <p>幅広い年齢層で事業を行うことで事業の活性化が図れ、世代間の交流がさらに深まったとともに、高齢者の生きがいにもなった。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>新規で取り組む団体を増やすとともに、現在すでに助成金を活用している団体の自立を目指す。</p>	A	(B)	C	D		
A	(B)	C	D									
キ 地域における女性団体への支援	○福島市婦人団体連絡協議会への支援を行う。 ・女性大学講座の共催 ・補助金の交付等	市婦連会員	10団体	通年 (女性大学講座 10月～11月)	アオウゼ ほか	<p>実施結果</p> <p>補助金の交付を行うとともに、研修会・事業に出席し、指導・助言を行った。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>特色ある事業を展開し地域へのさらなる貢献と組織の充実を図る。</p>	A	(B)	C	D	生涯学習課	
A	(B)	C	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
③ 地域社会活動やボランティア活動の広報	ア 市政情報提供の充実と強化	○ 市政だよりや新聞、ラジオ、テレビ、携帯電話、インターネットなどを活用するとともに、広報情報制度等により、市民の意見聴取の場をつくりながら、親しみやすく、誰もが分かりやすい市政情報の充実に努める。(再掲) 11頁参照	市民等		通年		<p>実施結果</p> <p>ツイッター等の発信を継続するとともに、広報情報モニターや市民カメラマンによる意見や情報の収集を行った。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>意見を市広報媒体へ反映し、効果的な広報につなげていく。</p>	A	(B)	C	D	広報広聴課
	A	(B)	C	D								
	イ ボランティア活動の支援	○ ボランティア活動に関する情報を収集し、提供する。	市民		通年	市内	<p>実施結果</p> <p>市民活動サポートセンターや市ボランティア連絡協議会と連携し情報の提供を行った。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>市民活動サポートセンター等を活用したネットワーク作りを充実する。</p>	A	(B)	C	D	市民活動支援課
A	(B)	C	D									
ウ 勤労者のボランティア活動支援	○ 勤労者のボランティア活動に関する情報を収集し、提供する。	市民		通年	ホームページ	<p>実施結果</p> <p>労働条件等実態調査の中で情報収集を行い、結果を公表した。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>さらに情報提供方法を改善する。</p>	A	(B)	C	D	商業労政課	
A	(B)	C	D									

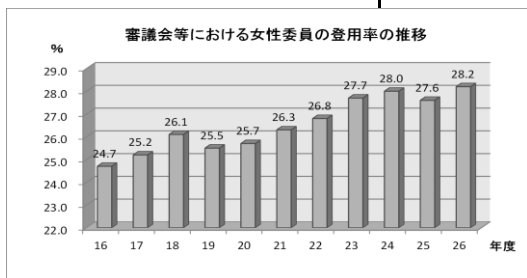
施 策	事 業 名	事 業 の 内 容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
④ 地域社会における市民（団体）活動への支援	ア 市民（団体）による主体的な取り組みへの支援	○市民（団体）が自主的、主体的に行う公共・公益的なまちづくり活動に対し、補助金交付等の支援を行う。  	実施団体 (19団体)	22件	通年	市内	実施結果 地域の特色を活かしたまちづくり事業に補助を行った。	市民活動支援課
							事業の評価 A   (B)   C   D	
							今後の課題 地域活動団体が行う諸活動に女性が積極的に参画できるよう支援する。	



基本目標Ⅱ 男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり  
 施策の方向性2 政策・方針決定過程における男女共同参画の推進  
 基本的施策(1) 政策・方針決定過程における女性の参画の推進

事業の部局内評価基準  
 A 事業を実施し、著しい成果があった  
 B 事業を実施し、成果があった  
 C 事業を実施したが、あまり成果がなかった  
 D 事業を実施したが、成果がなかった

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員(人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 条例、要綱等の見直しと女性の参画割合等の設定	ア 審議会等への女性委員登用促進	○ 附属機関等の設置及び運営に関する要綱に基づく各種審議会等委員の登用方法や制度の見直しを図る。	庁内各課		通年	市役所	<p>実施結果</p> <p>附属機関等の設置要綱、委員委嘱の発議合議時に各課へ指導に努めた。充て職が多いこと、専門分野における人材の掘り起こしが不十分等の目標達成のための課題が残った。</p> <p>事業の評価</p> <p>A   (B)   C   D</p> <p>今後の課題</p> <p>引き続き女性登用率の向上のため、各所属へ目標値の周知徹底を図る。</p>	総務課 関係各課
	イ 審議会等の女性委員の参画割合の設定	○ 平成32年度までに女性委員の参画割合の目標値を40%とし、定期的に調査するとともに、その結果を公表し、女性の参画を計画的に進める。	庁内各課		通年	市役所	<p>実施結果</p> <p>審議会等における女性の登用率の調査を実施し、その結果を公表するとともに、目標値を下回る審議会の所管課に対し、個別にヒアリングを行う等、目標達成に向けた取組みを行った。                      &lt;平成26年4月1日現在&gt;28.2%                      &lt;平成25年4月1日現在&gt;27.6%                      達成率70.5%</p> <p>事業の評価</p> <p>A   (B)   C   D</p> <p>今後の課題</p> <p>目標の達成に向け、ヒアリングの強化等取組みを一層推進する。</p>	男女共同参画センター



施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
① 条例、要綱等の見直しと女性の参画割合等の設定	ウ 女性委員を登用していない審議会等への積極的登用促進	○平成32年度までに女性委員を登用していない審議会等の数の目標値を0とし、定期的に調査するとともに、その結果を公表し、女性の参画を計画的に進める。	庁内各課		通年	市役所	<p>実施結果</p> <p>女性委員を登用していない審議会等の数を調査し、結果を公表するとともに、目標値を下回る審議会の所管課に対し、個別にヒアリングを行う等、目標達成に向けた取組を行った。</p> <p>&lt;平成26年4月1日現在&gt;6審議会 &lt;平成25年4月1日現在&gt;8審議会</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>目標の達成に向け、ヒアリングの強化等取組を一層推進する。</p>	A	(B)	C	D	男女共同参画センター
	A	(B)	C	D								
エ 公募による登用の促進	○幅広い分野からの参画を進めるために公募制度を取り入れるとともに、実践活動者を積極的に登用する。	庁内各課		通年	市役所	<p>実施結果</p> <p>男女共同参画推進アドバイザー研修会等において、関係部課に対し公募委員の登用促進を要請した。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>取り組みを一層強化する。</p>	A	(B)	C	D		
A	(B)	C	D									
② 人材リストの整備	ア 人材リストの整備	○各分野において男女共同参画について専門知識を持つ人材を募集し、各種審議会等に人材情報として提供する。	市民		通年		<p>実施結果</p> <p>ウィメンズ修了生14名と人材育成講座修了生5名を人材リストに登録し、平成26年度は、各審議会等に人材を推薦、登録者中10名が登用された。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>(A)</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>リスト登録者の活躍の場の一層の創出と、男女共同参画センターとの連携強化。</p>	(A)	B	C	D	
(A)	B	C	D									

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
③ ポジティブ・アクション導入の検討	ア 職制への女性の積極的登用	○女性の職制への登用を積極的に進めるとともに、その拡大を図る。	女性職員				実施結果	職員課
							<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27. 4. 1人事異動による女性職員の昇任者数 課長(相当)職:1名 係長職:11名</li> <li>・男性職員の後任に女性職員を配置した職制のポスト ⇒8ヶ所</li> <li>・職制に占める女性職員数 H27⇒53名/527名 (10.1%)</li> </ul>	
							事業の評価	
							A   (B)   C   D	
							今後の課題	
女性職員の人材育成研修の充実。								
④ 性別にとらわれない採用・配置・昇進の推進	ア 職域の拡大	○募集、採用の均等な機会を確保するとともに、職域の拡大を図る。	上級職(行政)	受験者数 206 (うち女性68人)	6月22日	福島第四中学校	実施結果	職員課
			上級職(土木等)	49 (うち女性7人)	6月22日	福島第四中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27. 4. 1付け新規採用職員に占める女性の割合 ⇒36名/97名(37.1%)</li> <li>・企画立案部門等への女性職員配置を拡大した。 中核市移行推進室:2名増 広報広聴課:1名増 観光コンベンション推進室:2名増 農業振興課:1名増 子育て推進室:5名増 河川課:1名増 公園緑地課:1名増 議会事務局:2名増 保健体育課:1名増</li> </ul>	
			資格職(保健師)	18 (うち女性17人)	6月22日	福島第四中学校	事業の評価	
			初級職等(行政等)	172 (うち女性49人)	9月28日	福島第四中学校	(A)   B   C   D	
			上級職(土木等)	32 (うち女性3人)	9月28日	福島第四中学校	今後の課題	
							女性職員配置職場の拡大及び配置人数の増加を図る。	



施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
④ 性別にとらわれない採用・配置・昇進の推進	イ 研修の機会拡大と充実	○男女共同参画社会の構築に資する研修の充実を図る。	主査1年目の女性職員	12	11月25日	市役所研修室	実施結果	職員課
							女性の仕事と生活の両立を支援する「女性キャリアアップ研修」を実施した。当該研修に対し「効果的な研修である」と評価した受講者の割合は100%であった。	
							事業の評価	
							A   (B)   C   D	
今後の課題	より効果的な研修のあり方の検討。							
⑤ 市政を身近なものとするための広報活動の推進	ア 市政情報提供の充実と強化	○市政だよりや新聞、ラジオ、テレビ、携帯電話、インターネットなどを活用するとともに、広報情報制度等により、市民の意見聴取の場をつくりながら、親しみやすく、誰もが分かりやすい市政情報の充実に努める。(再掲)11頁参照	市民等		通年		実施結果	広報広聴課
							ツイッター等の発信を継続するとともに、広報情報モニターや市民カメラマンによる意見や情報の収集を行った。	
							事業の評価	
							A   (B)   C   D	
今後の課題	意見を市広報媒体へ反映し、効果的な広報につなげていく。							
⑥ 市政に関する意識の聴取	ア 自治振興協議会の開催	○市政に関する意見の交換を図り、地域住民の声を具体的に聴取して施策に反映させる目的で開催する。(再掲)45頁参照	各地区の自治振興協議会の委員	1,083	6月～8月	各支所等	実施結果	
							市内28地区の自治振興協議会を18会場で開催した。地域住民と協議会を通じ、意見交換を実施することで、行政と住民との情報共有が図られた。また、女性委員の出席は全体の13%であり、地域の課題解決のために女性の声を反映する機会を設けることができた。	
							事業の評価	
							A   (B)   C   D	
今後の課題	地域住民の声を施策にさらに反映できる仕組みづくりを検討するとともに若年層及び女性委員を拡大する。							

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
⑥ 市政に関する意識の聴取	イ 市長直通便	○市民の提言や要望など市民の声を市政の参考、または反映させる目的で実施する。	市民等	165件	通年		<p>実施結果</p> <p>担当課にて即時対応したものの39件、将来対応可能なものとして31件を検討する。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>回答までの期間の短縮。</p>	A	(B)	C	D	広報広聴課
	A	(B)	C	D								
ウ まちの未来創造会議	○市民が望むこれからのまちづくりについて、幅広い年代層から広く意見を聴くため、年代別のワークショップや、次代を担う若い世代とのタウンミーティングを開催する。	市民等	<p>ワークショップ 67名</p> <p>タウンミーティング 15名</p>	1月～2月	市役所、市民会館、アクティブシニアセンター・アオウゼ	<p>実施結果</p> <p>ワークショップを4回、タウンミーティングを1回実施した。様々な職業や幅広い年齢層の市民から、広く意見をお聴きすることができた。</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>出された意見の市政への反映。実施時間や時間配分について検討する。</p>	A	(B)	C	D		
A	(B)	C	D									

**新規事業**

基本目標Ⅱ 男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり  
 施策の方向性2 政策・方針決定過程における男女共同参画の推進  
 基本的施策(2) 女性の人材育成施策の充実

事業の部局内評価基準  
 A 事業を実施し、著しい成果があった  
 B 事業を実施し、成果があった  
 C 事業を実施したが、あまり成果がなかった  
 D 事業を実施したが、成果がなかった

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員(人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 人材養成と意識改革のための研修機会の提供	ア 講座等の充実  <b>新規事業</b>	○ 市政に参画する女性を養成するため講座等を充実する。  ▪ 男女共同参画人材育成講座(全12回)  	市民	124(延べ)	9月～2月	男女共同参画センター	実施結果 男女共同参画に関する総合的な講義と併せて、各部部长・次長より市政全般に亘る講義を実施し、市政に参画する人材の育成に努めた。受講生16名中11名(68.8%)が修了。 事業の評価 A   (B)   C   D 今後の課題 講座内容の一層の充実と、受講生の確保、地域や企業、各種団体等において男女共同参画を推進できる人材の養成	男女共同参画センター
		○ 市政に女性の意見を反映させるため、話し合いの技術を学びながら政策提言書作成のスキルを身につけるための講座を開催する。 ▪ ウィメンズ・イノベーション・カレッジ・インふくしま(全6回)  	市民	112(延べ)	6月～10月	男女共同参画センター	実施結果 多様な立場の女性が参加し、参加者個人のスキルアップとともに市の現状を踏まえた提言発表があった。4提言中3つの内容は、27年度の事業化が予定されている。修了生22名中14名が人材リストへ登録した。 事業の評価 (A)   B   C   D 今後の課題 多様な立場の参加者の確保。参加者と行政との連携構築による、効果的な女性の活躍推進体制づくり。	

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
② 市政に関する学習機会の提供	ア 市政見学会の実施	○ 市政課題に沿って、年間を通して実施する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市政見学会（団体参加）</li> <li>・ 市政見学会（個人参加）</li> <li>・ 親子市政見学会</li> </ul>	市民	483	4月～12月	市施設ほか	実施結果	広報広聴課
							見学者を募り 市の施設を案内する見学会を33回実施し、参加者アンケートでは、市政や施設の役割について理解が深まったとのご意見が多く見られた。また、20～30代の参加者の割合は1割程度であった。	
							事業の評価	
							A   (B)   C   D	
今後の課題	若年層の見学者を増やす。							
③ 市政に関する意識の聴取	ア 行政懇談会の開催	○ 男女共同参画の推進に資するため、男女共同参画推進団体代表者等との懇談会を開催する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島市長とふくしま市女性団体連絡協議会との懇談会</li> </ul>	ふくしま市女性団体連絡協議会	50	11月14日	男女共同参画センター	実施結果	男女共同参画センター
							「福島市政2014～みんなが誇れる県都ふくしまを創る～」と題し、市長が講話を行った後、参加者との活発な意見交換が交わされる等、市政に関心を寄せる女性団体と、積極的な交流を図った。	
							事業の評価	
							(A)   B   C   D	
今後の課題	今後も継続して実施する。							

基本目標Ⅱ 男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり  
 施策の方向性2 政策・方針決定過程における男女共同参画の推進  
 基本的施策(3) 農業や防災などの分野における女性の参画の促進

事業の部局内評価基準

- A 事業を実施し、著しい成果があった
- B 事業を実施し、成果があった
- C 事業を実施したが、あまり成果がなかった
- D 事業を実施したが、成果がなかった

施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員(人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課
① 農業などの分野における女性への支援と環境整備	ア 農業、農村における女性団体活動の支援	○各種研修会等の開催に対する支援協力を行う。	女性農業者	187	通年	市内各地	実施結果 5団体のべ8回の研修等に対し、講師謝金補助などの支援を行った。 事業の評価 A   (B)   C   D 今後の課題 より多くの団体に利用してもらおう。	農業振興課
	イ 農業、農村における女性農業者起業活動の支援	○女性農業者が行う起業活動等への支援協力を行う。	女性農業者	1件	通年	県内各地	実施結果 女性農業者起業活動にかかわる農産加工施設へ対し、加工に必要な備品導入の支援を行った。 事業の評価 A   (B)   C   D 今後の課題 より多くの団体に利用してもらおう。	
	ウ 家族経営協定締結の推進	○家族の就業条件等について協定を結ぶことで、女性農業者の役割を明確にし、全員で意欲と能力を存分に発揮し、より良い農業経営を営める環境を整備する。	認定農業者ほか	2件	通年		実施結果 新規就農や認定農業者に向けて、女性農業者の役割を明確にしより良い農業経営を目指す環境整備を行えた。 事業の評価 A   (B)   C   D 今後の課題 営農者へ利点等の周知を図る。	農政課



施策	事業名	事業の内容	参加対象	参加人員 (人)	実施時期	実施場所	実施結果・評価・課題	所管課				
① 農業などの分野における女性への支援と環境整備	ウ 家族経営協定締結の推進	○協定締結時の立会いを行う。	認定農業者ほか	2件	通年		<p>実施結果</p> <p>新規就農や認定農業者に向けて、女性農業者の役割を明確にしより良い農業経営を目指す環境整備を行えた。</p> <p>協定締結時の立会い件数2件 立会い者：農業企画係長</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>(B)</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>営農者へ利点等の周知を図る。</p>	A	(B)	C	D	農政課
	A	(B)	C	D								
エ 農業委員への女性の登用	○女性農業委員を選出することにより、女性の視点を反映したより良い農業経営のための環境を整える。	女性農業者	4	通年		<p>実施結果</p> <p>女性農業者のうち公選委員として1名、議会推薦の選任委員として3名の農業委員を選出している。</p> <p>&lt;平成27年3月31日現在&gt;4/42人 &lt;平成26年3月31日現在&gt;3/42人</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>(C)</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>次期改選の際に更に女性農業委員の割合を増やし、自らの経験に基づく女性農業者ならではの視点を反映できるように取り組んでいく。</p>	A	B	(C)	D	農業委員会	
A	B	(C)	D									
② 防災の分野における女性の参画の促進	ア 福島市防災会議への女性の登用	○福島市防災会議委員に女性委員を委嘱することにより、男女共同参画の推進を促進し、地域防災計画及びそれに基づく各種防災対策の充実を図る。					<p>実施結果</p> <p>新たに女性委員3名を防災会議委員として委嘱した。</p> <p>&lt;平成27年3月31日現在&gt;3/53人</p> <p>事業の評価</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>(C)</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>今後の課題</p> <p>女性委員の一層の拡大。</p>	A	B	(C)	D	危機管理室
A	B	(C)	D									